

1 数字で書きましょう。

(1) 六百五十四万三千百四

数字のない位に、0を書くことを忘れないようにしましょう。

6 5 4 3 1 0 4

(2) 五百四万六千十一

5 0 4 6 0 1 1

2 にあてはまる数を書きましょう。

(1) $6 \times 5 = 6 \times 4 +$

かける数が1ふえると、答えはかけられる数の分だけふえます。かけ算のきまりをもとに、計算をしないでとくことがポイントです。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54

6 6 6 6 6 6 6 6

(2) $4 \times$ $= 4 \times 8 - 4$

3 23×9 の筆算は、次のような考え方で計算します。 にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$$

23は、20と3に分けて、 20×9 と 3×9 の計算をします。

$$27 \dots\dots$$
 $\times 9$

$$180 \dots\dots$$
 $\times 9$

$$\begin{array}{r} 27 \dots\dots \\ 180 \dots\dots \\ \hline 207 \end{array}$$